

第一環境

冊子を制作し寄贈

飯塚市へ 水害と100周年で

第一環境はこのほど、冊子「飯塚市水道100周年記念 未来へつなぐ水害の歴史」を制作し、11月18日に飯塚市へ寄贈した。同日、同市役所で贈呈式が行われた。

郵政局や図書館などが浸水により壊滅的な被害を受けた。

この水害から20年以上が経過し、当時の記憶や危機意識が薄れつつある中、同社の飯塚事務所は水害の記録を継承しようとして「未来につなぐ水害の歴史プロジェクト」を立ち上げた。

同プロジェクトが活動を展開する中、事務所の

とある社員の子供が、祖母から聴き取った水害の教訓に関してまとめた作文を見て、その想いに心を動かされ、同様の作文を収録した冊子を作ることと決めた。同事務所の柳井里美所長は話す。

同冊子には、市内の小学校4～6年生、約90人の作文が収録されている。同市企業局の石田慎二

企業管理者のあいさつ、飯塚市水道100年の歴史、飯塚市の水源も掲載されている。

表紙・裏表紙は、飯塚小学校の6年生が描いた遠賀川の風景の絵が用いられている。

同市の水道事業は、今年1月1日で給水開始から100周年を迎えた。

これに先立ち開催された冊子の贈呈式では、石田管理者、桑原昭佳教育長が同社の山中義博九州・沖縄支店長から冊子を受け取った。



(左から)柳井所長、桑原教育長、石田管理者、山中支店長



飯塚市水道100周年記念

未来につなぐ水害の歴史



冊子「未来につなぐ水害の歴史」の表紙